

リベリア
ニンバ山脈地帯森林保全プロジェクト
現地からのお便り

2017年8月
コンサベーション・インターナショナル

保全契約1：家畜飼育

Gbopayee と Yolowee の二つの村では、それぞれ 2 匹の雄豚と 4 匹の雌豚が飼育されています。26 人のトレーニングを受けた村人が世話を担当し、良い衛生状態が保たれた豚舎で、適切に混合された餌を適切なタイミングでたっぷりもらい、豚は良く育っています。

村にきて半年弱ですが、合計 8 匹のメス豚はすでに妊娠しました。5~6 カ月後には出産の予定です。



妊娠中のメス豚

保全契約2：フロントライン保護官

保全契約で禁止されている行為がないか、二つの村で合計 108 回パトロールを実施しました。パトロールを行ったのは、24 人のフロントライン保護官です。108 回のうち、18 回は東ニンバ保護区内を、残りの 90 回は村及びその周辺の森林を見回りました。

東ニンバ保護区内では、猟師の足跡と通った跡、罾用のワイヤー、銃の音を合計 5 件確認しました。村及びその周辺の森林では、空の薬きょう、猟師の通った跡、罾用のワイヤー、銃の音を 16 件確認しました。

確認された違反について調査を行いました。現在のところ逮捕には至っていません。フロントライン保護官は、村人の意識を高めるための普及活動を続けています。



森林局の公園管理官とパトロールに関する確認をするフロントライン保護官

保全契約

昨年署名した保全契約の内容の見直しを行ってきましたが、来期、二つの村で更新する予定です。

(全ての写真は、© Conservation International/Photo by Alison Miah)

※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。